第8号　2020年9月発行

市立秋田総合病院 新病院建設　工事かわら版

■工事状況

３か月におよんだ基礎躯体工事も１０月中旬頃に終了を迎え、工程は地上躯体工事へと移行します。

地上躯体工事の出だしは免震装置の設置から始まります。「免震装置」とは、地震による揺れを軽減するものですが、新病院では６２基の免震装置を設置し地震に備えます。

この他に、１０月は鉄骨工事も開始するため、引続き現場内に多数の大型車両が出入りします。

定点写真（9/24撮影）

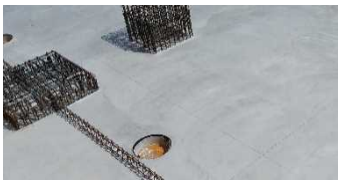
■安全パトロール実施中

当現場では、週1回の頻度で各専門工事会社の職長を中心に安全協議会を実施しています。

また、特別安全衛生協議会や災害防止協議会といった、安全面に特化した組織を編成し、各々異なる視点で活動することにより、現場の安全管理や災害事故防止に努めています。

これまで同様、安全には十分配慮し工事を進めてまいりますので、工事に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

スラブ配筋状況



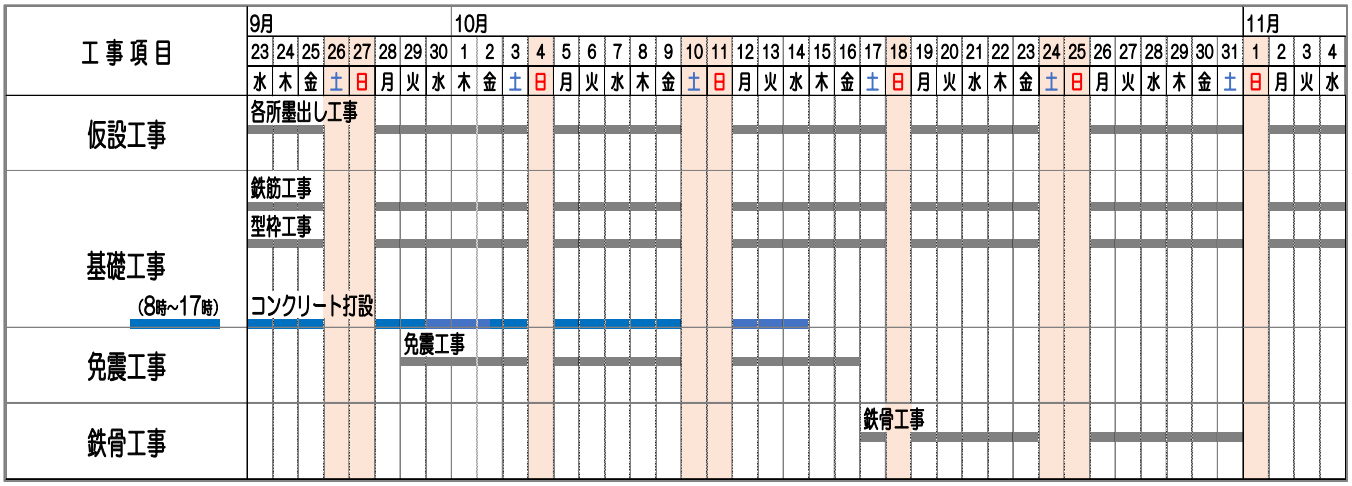
スラブ打設後状況

気温が穏やかになってきましたが、今後は台風等の自然災害が想定されるため、暴風雨対策についてもしっかり行ってまいります。

新型コロナウイルス感染症対策等についても継続し発症させることのないよう徹底していきます。

■工事予定

進捗状況および天候によって、予定から工事内容が変更する場合があります。（予備日で対応）
＊コンクリートの打設量に応じて、作業時間が朝7時から夜19時までとなる場合もありますので、ご了承ください。



すべては患者さんの「笑顔」のために！

工事かわら版を毎月発行します。次回は10月下旬です。
発行：清水・佐々木・長谷駒・羽後・ヌノタニＪＶ
工事のお問合せは　018-838-6061　へどうぞ